



干布小学校だより

8月号 R5.8.25

天童市立干布小学校

校長 多勢 弘子

いのちを守る行動を最優先に

～固定観念にとらわれず、自ら実行する子供へ～

2学期が始まりました。今年は玄関前で見慣れない熱帯植物が子供たちを出迎えています。子供たちに植物への興味を持たせたいことと、夏の暑さを見越して、担当職員が植えました。



予想以上の暑さで弱っているマリーゴールドの花を、この熱帯植物の大きな葉が日よけになって守っている姿がとてもたくましく、前を通る子供たちにも元気を与えてくれています。

さて、8月22日の登校初日の朝はすでに30度近い猛暑。子供たちは熱中症対策として、帽子はもちろん、日傘やうちわ、さらには保冷剤使用の冷感タオルやアイスバンドを首に巻くなど、様々な対応をして登校してきました。

誰一人として無防備な姿がなかったこと、保護者の方

に感謝するとともに、子供たちの意識が変わってきたことに、とても感動しました。



うちわもあると涼しいよ！

それは、3年前の同時期、マスク着用が必須だったのにもかかわらず、日傘登校は思うように浸透しなかった思い出があるからです。

当時、子供たちに日傘登校を紹介したところ、日傘を使えば周りとも距離がとれるからマスクも外せるし、その方が涼しいことも子供たちは理解していました。しかし、傘をさす姿は見られませんでした。日傘じゃなくても雨傘でもいいんだよ、と言ってもだめでした。

子供たちの話を聞くと、「だれも日傘さしてないもん。」という周囲と異なる行動への抵抗感や誰もやっていないことを最初にやることへの不安感、そして「日



日傘や帽子、タオルを首に巻いて下校する様子

傘を使うのは女の人でしょ。」という固定観念から抜けだせないという理由がありました。

そこで、保護者向けのお便りをだして協力を依頼したところ、ようやく日傘登校の子どもが出始めたのでした。

それでも、「先生や親から言われたから日傘をさしている。」という意識だとすれば意味がありません。

あれから3年が経ち、子供たちが自分の意志で、日傘だけでなく多様な物で、それぞれが工夫していることに感動したのです。

大人の私たちも周囲の目やこれまでの固定観念にとらわれて、新しいことに踏み切れないことがよくあります。この初日、本校の子供たちが「いのちを守る」ことを最優先に考え実行できたように、大人の私たちも考え方を柔軟にして、子供たちの創造力と実行力を育てていかなければと深く思った次第です。

◆2学期始業式◆ 代表あいさつ



2学期にがんばりたいこと

4年 代表

私は、四年生になって、一学期はクラブ活動や委員会活動が始まったり、運動会で応援団をしたり、総合で紅花に関わる活動をしたりできて、とても楽しく過ごすことができました。

二学期は、勉強でも自分に力をつけて、もっと楽しく生活できるように、次のことをがんばりたいと思います。

一つ目は、長距離走記録会に向けて、練習をがんばりたいです。なぜかという、私は走るのがそんなに得意ではありませんが、自分の自己ベストの記録を更新したいからです。

二つ目は、社会の勉強をがんばりたいです。苦手な教科でも、進んで勉強に取り組んでいきたいです。

三つ目は、紅花についてもっとくわしく調べて、紅花のよさをアピールすることをがんばりたいです。家族や地域の人に紅花のよさをもっともっと知ってほしいからです。

二学期は、この三つのことをめあてにがんばって、充実した生活を送れるようにしたいです。



主な行事予定

- 1日（金） 通学班長会
2年校外学習（河北児童動物公園）
- 6日（水） 6年史跡巡り
- 7日（木） 朝読み聞かせ（図書委員会）
- 11日（月） 長距離走奨励期間（～29日）
※10/3（火）記録会
- 12日（火） 朝会（歌）
- 14日（木） 1年校外学習（天童高原・市立図書館）
- 15日（金） 代表委員会
- 19日（火） クラブ活動
- 21日（木） 委員会活動
- 25日（月） 保護者面談（～28日）



夏休み作品発表会の様子

学校の様子については随時学校ホームページでお知らせしております。
ぜひご覧ください。 学校ホームページ <https://www.hosinuno.jp/>



